

概要版

JR 羽犬塚駅周辺地区まちづくりビジョン ～デザイン編～

ほっ

と暮らせる 駅前リビング

～「便利なまちの玄関」から「居心地の良いまちのリビング」へ～



令和7年7月

JR 羽犬塚駅周辺地区エリアプラットフォーム

“デザイン編”の策定

JR 羽犬塚駅周辺地区において、頻発・激甚化する水災害に対応した防災まちづくりや、低未利用地や地域資源を活用した活力と魅力あるまちなかの形成に向け、令和3年度より本地区のまちづくりビジョンの策定に取り組んできました。行政・住民・事業者・学識などの多様な人材が参画した協議の場において、本地区の課題や現状分析を行いながら、情報共有や合意形成を図りつつ、令和4年3月29日に『JR 羽犬塚駅周辺地区まちづくりビジョン』の取りまとめを行いました。

このまちづくりビジョンを実現させ、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進や駅前エリアの活力・魅力の向上に向け、「JR 羽犬塚駅周辺地区エリアプラットフォーム」を令和4年6月1日に設立しました。

また、令和6年3月には、筑後市が『JR 羽犬塚駅周辺地区都市再生整備計画』を策定し、まちづくりビジョンの実現に向け大きく動き始めています。

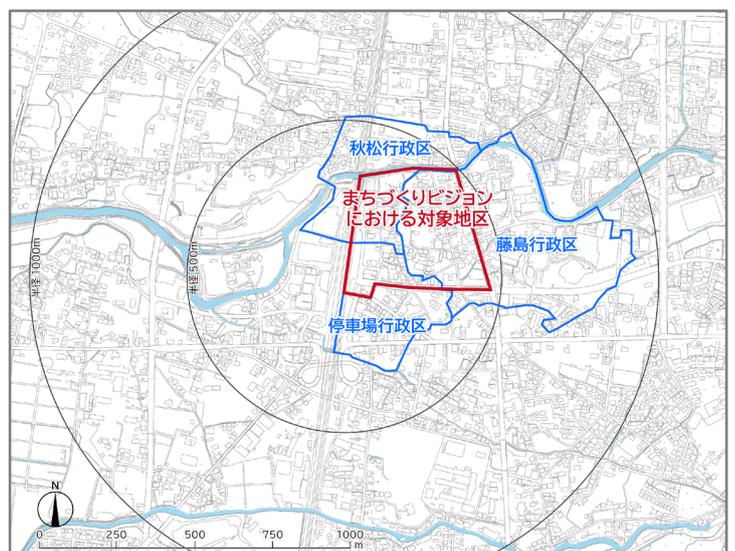
今後、JR 羽犬塚駅周辺地区がより魅力的で快適性を兼ね備えた居心地が良い空間づくりを官民が連携しながら進めていくため、地区全体のデザインの統一的な考え方を整理した、まちづくりビジョン別冊（デザイン編）をとりまとめることとします。



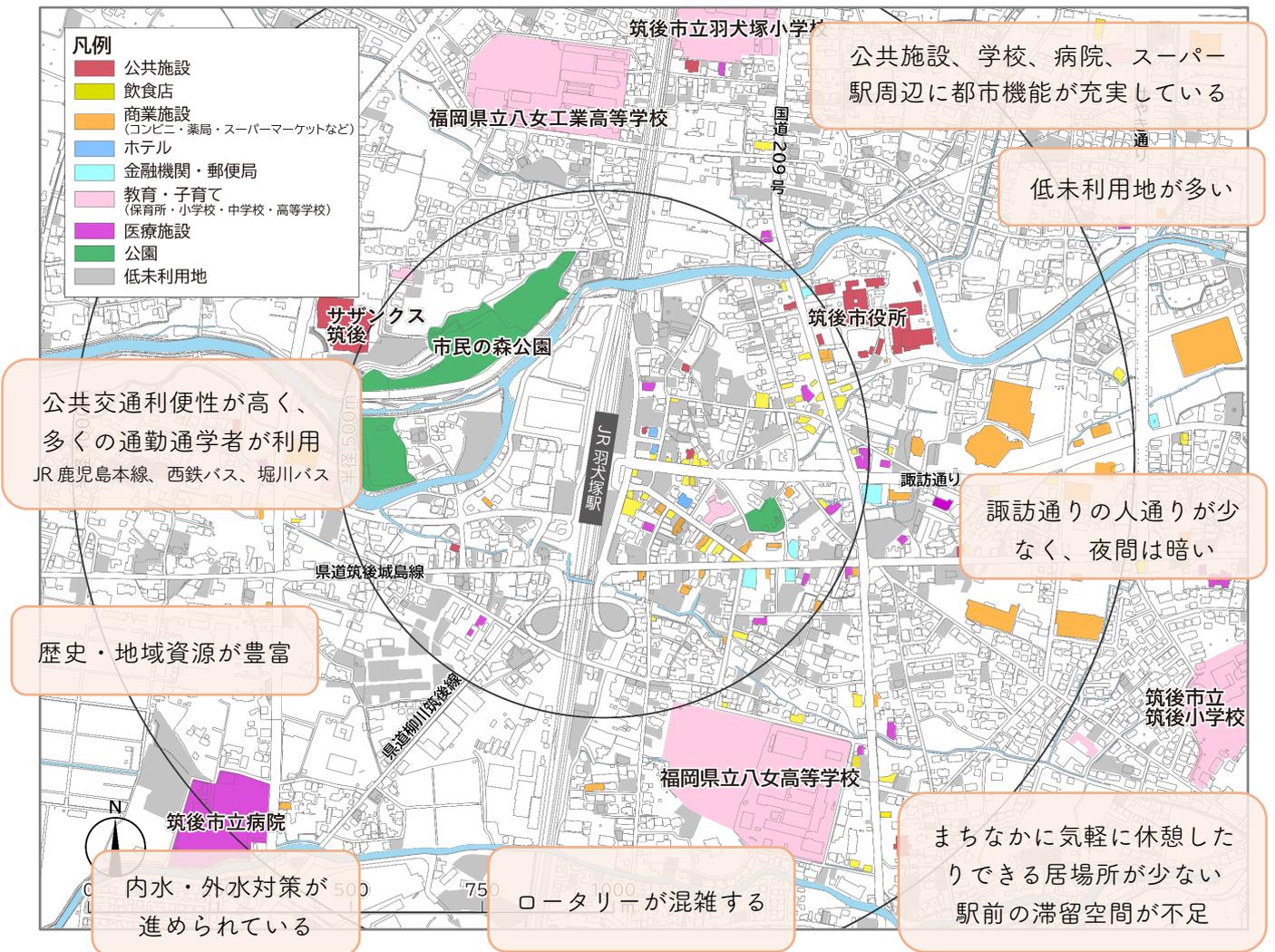
対象地区

まちづくりビジョンの対象地区は、JR 羽犬塚駅東側の下記赤線の範囲である約 10.7ha を基本とします。この範囲は、市が都市再生整備計画に基づき実施する主な整備範囲ですが、現在、停車場行政区、藤島行政区、秋松行政区と協働して様々なまちづくりの取組を継続して行っているため、この3つの行政区でまちづくりビジョンを共有し実現を目指していきます。

●まちづくりビジョンにおける対象地区



地区のポテンシャルと課題



住民が望む、JR 羽犬塚駅周辺の将来像

彩りあふれる羽犬塚の停車場

建物と広場、シンボル

なんかいいな羽犬塚 住まんね筑後

明るさなどの安心感、店がある、駅から降りたときの印象

ちょうどよい、
心地よい、
見守るまち

みんなのリビング

まちの顔、人とのつながり、にぎわいの場所、子どもの居場所

JR 羽犬塚駅エリアプラットフォーム部会ワークショップより（令和7年2月4日）

JR 羽犬塚駅周辺地区の将来像

ほっと暮らせる 駅前リビング

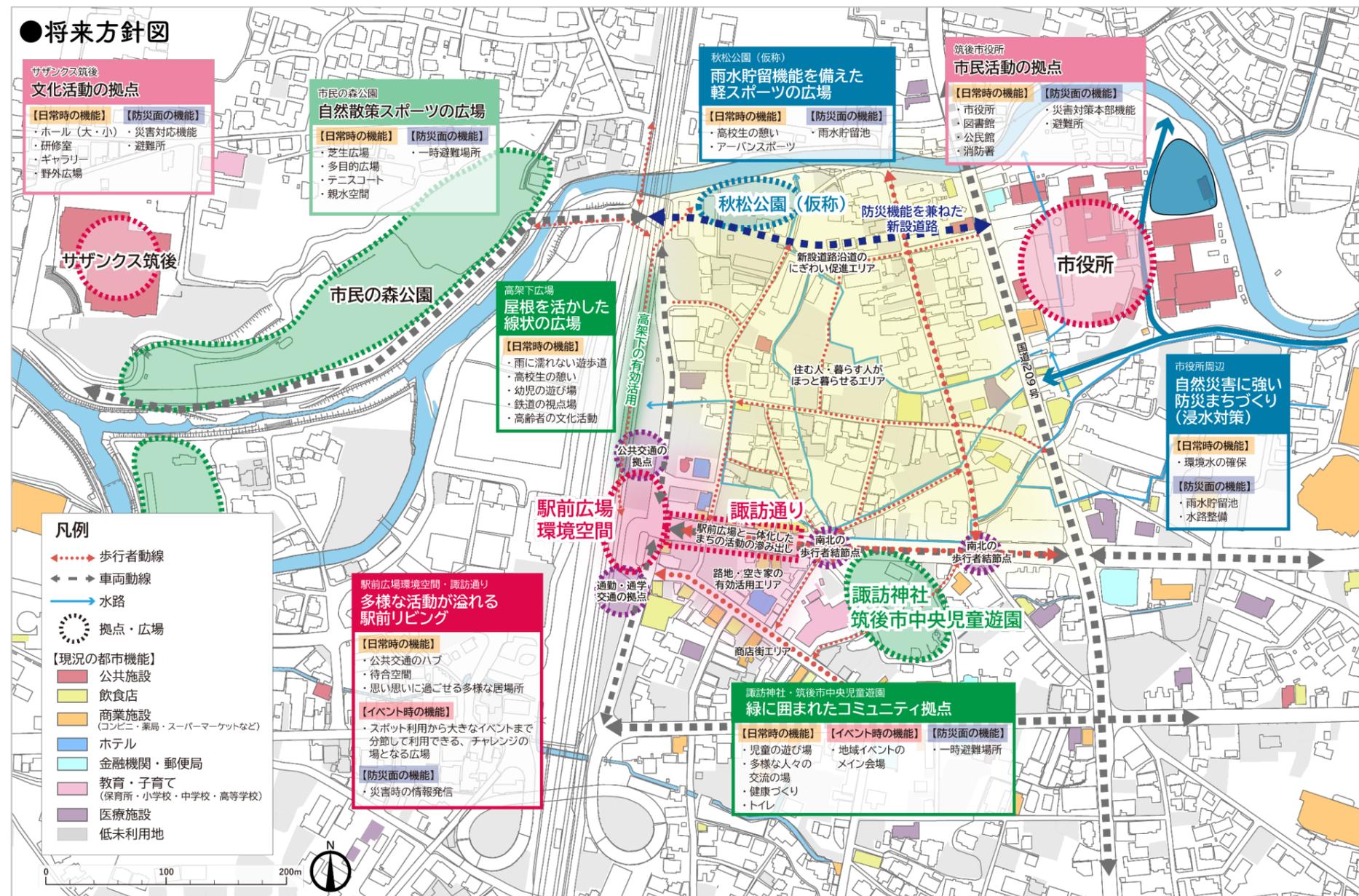
～「便利なまちの玄関」から「居心地の良いまちのリビング」へ～

持続的なまちづくりを進めるためには、地区の住民や、学生を中心とした駅利用者が「暮らし続けたい」と感じ、地区外の人には「行きたい、暮らしてみたい」と感じてもらえるようにすることで、子育て世代を中心とした居住人口を確保していくことが重要です。また、これまで「便利なまちの玄関」として役割を求められてきましたが、これからは「便利さ」だけでなく、「居心地の良さ」や「ほっとする」ことが求められているようです。

そこで、利便性・安全性が高く、地域の自然や歴史を活かした豊かな居住環境を感じられるような、住んでいる人や暮らしている人が「リビング」のように「ほっと暮らせる」地区を目指します。

ほっと暮らせるとは？

- 地域全体で防災の取組を行っている
- 車を運転しなくても（できなくても）、スーパーや病院が身近にある
- 利便性の高い鉄道駅や路線バスが近くにあり、多様な交通手段でアクセスしやすい
- 空き家や空き地が有効に活用されている
- 子供から高齢者まで自分らしく過ごせる居場所がある
- 夜暗くなくても安心して歩ける
- 子どもが遊べる空間が身近にある（公園や広場の整備）
- 学生が学べる空間が身近にある（コワーキングスペース等の確保）
- 地域ぐるみで子育てを応援している（子ども食堂等）
- 地域で暮らすすべての人が、障がいの有無や年齢、国籍など関係なく、お互いに助け合い、支えながら、安心して暮らす事ができる



●将来像実現のための3つの柱

1. 安全・安心なまちづくり

- 雨水貯留池の整備や、グリーンインフラの導入など、みんなが安心して安全に暮らせる防災まちづくり
- 夜間でも安心して歩ける環境に整備し、地区全体の安全性の向上

2. みんなの居場所となる多様な空間づくり

- 子どもから高齢者まで誰もが自分らしく過ごすことができ、市民一人ひとりが愛着を持つ居心地がよい場所となるような、多様な空間づくり
- 多様な居場所での活動が周囲に波及し、ネットワークとしてつながっていくことで、居住環境の向上や都市機能の新たな立地など、地区全体の好循環に

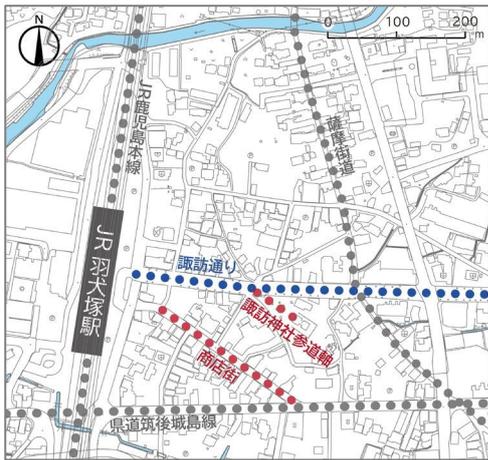
3. まちの顔となる駅前拠点づくり

- 駅前ロータリーを再編し、すべての人が安全かつ快適に移動できる交通拠点を創出
- 駅前広場環境空間や諏訪通りの再編により、愛着を持って使ってもらえる駅前空間を創出するとともに、日常的に人々が憩い多様な活動が生まれる様子が「まちの顔」になるような駅前拠点づくり

デザイン方針

JR 羽犬塚駅周辺地区を作ってきた「まちの軸」を意識したデザイン

- 歴史を感じる諏訪神社の参道軸を反映
- 筑後市の顔となる諏訪通り



▲JR 羽犬塚駅周辺の軸線

羽犬塚・筑後らしさを感じる素材・カタチを使う

- 昔から筑後で使われてきた自然素材やモチーフを活用
- 新しいことに寛容な羽犬塚らしさを体現して新技術も導入



▲JR 羽犬塚駅 先代駅舎

地域のみどりを保全・活用し、潤いのある空間に

- 諏訪神社や屋敷林など地域の風土にあったみどりの保全・創出
- グリーンインフラの導入



▲諏訪神社の社寺林

誰もが落ち着いて過ごせる温かみのある色合い

- 筑後市の玄関口として、華美になりすぎず、日常生活に溶け込む色合い
- 温かみがあり、安心して歩くことができる夜間景観の創出

【背景色】	【アクセントカラー】
ダークグレー	エンジ色
グレーベージュ	
オフグレー	

JR 羽犬塚駅周辺地区まちづくりビジョン
デザイン編 概要版
令和7年7月

発行：JR 羽犬塚駅周辺地区エリアプラットフォーム
事務局：筑後市 建設経済部 都市対策課
〒833-8601
福岡県筑後市大字山ノ井 898
<https://www.city.chikugo.lg.jp/>